

平成30年度(2018年度)

管理事業名	休日急病診療所事業				総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第6節 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 13 休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行所属		地域医療推進室 休日急病診療所		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
休日急病診療所事務事業 休日急病診療所移転整備事業						
<b>事業の目的と概要</b> 【休日急病診療所事務事業】 吹田市立休日急病診療所は、日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、昼間の急病患者に対して、応急的な医療を市民の皆様へ提供しています。 診療科目は内科、小児科、外科、歯科の4診療科です。 【休日急病診療所移転整備事業】 吹田市立休日急病診療所は、現在総合福祉会館4階において暫定的に運営を行っていますが、感染症対策等の観点から、「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」(青山台4丁目)の建物を改修し、恒久的な移転先として活用するものです。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
受診者数	人	4,842	5,345	6,229	休日急病診療所を利用された患者数
成果の説明	吹田市立休日急病診療所は、開業医が休診の日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供する中で、平成30年度は年間延べ6,229人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。 患者数につきましては、平成27年2月22日に休日急病診療所が千里保健医療会館から現在の総合福祉会館4階へ移転したことにより、患者数は一時減少しましたが、平成28年度以降は現在の診療場所が周知されてきたことやインフルエンザの大流行による患者数の増加もあり、毎年患者数が増加しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
<b>使用料及び手数料</b>	<b>41,738</b>	<b>48,392</b>	<b>55,547</b>	<b>7,155</b>
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	286	66	110	43
経常収入 小計(a)	42,024	48,458	55,656	7,198
給与関係費	67,241	75,993	77,337	1,344
<b>物件費</b>	<b>7,150</b>	<b>11,093</b>	<b>18,721</b>	<b>7,628</b>
維持補修費	108	70	169	99
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	104	122	121	△2
特別会計への繰出金	-	-	-	-
<b>減価償却費</b>	<b>1,879</b>	<b>3,647</b>	<b>6,122</b>	<b>2,475</b>
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,236	1,880	1,959	79
退職手当引当金繰入額	8,145	8,388	1,688	△6,700
支払利息	-	-	-	-
その他	-	0	-	△0
経常費用 小計(b)	85,864	101,194	106,118	4,924
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△43,839	△52,736	△50,461	2,274
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△43,839	△52,736	△50,461	2,274
一般財源充当額	34,741	199,066	44,663	△154,403
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△9,099	146,330	△5,798	△152,128

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	平成30年度は平成29年度と比べ、患者数が884人増加したことにより診療収入が7,155千円増加
物件費	平成30年度は平成29年度と比べ、患者数の増加により医療材料費が632千円増加、また、平成30年度に建物改修の実施設計を実施したことにより6,279千円増加
減価償却費	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」に係る減価償却費が2,475千円増加

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	41,784	48,458	55,656	7,198
行政サービス活動支出	76,525	90,535	100,320	9,784
行政サービス活動収支差額	△34,741	△42,077	△44,663	△2,586
投資活動収入	-	-	-	-
<b>投資活動支出</b>	<b>-</b>	<b>156,989</b>	<b>-</b>	<b>△156,989</b>
投資活動収支差額	-	△156,989	-	△156,989
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△34,741	△199,066	△44,663	154,403
一般財源充当額	34,741	199,066	44,663	△154,403
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出) 「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の建物購入費(156,989千円)の減
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
受診者1人あたりのコスト	平成28年度	4,842人	17,733円	各年度の受診者数で算出し、平成30年度は受診者1人あたり17,036円のコストがかかっています。前年度と比較し受診者数の増加により、1人あたりのコストが減少しました。
	平成29年度	5,345人	18,932円	
	平成30年度	6,229人	17,036円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,880	1,959	79
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,880	1,959	79
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	158,255	153,742	△4,513	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	20,345	19,942	△404
建物・工作物	158,255	153,742	△4,513	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	20,345	19,942	△404
無形固定資産	240	240	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	22,225	21,901	△324
建物・工作物	-	-	-	純資産	147,290	141,492	△5,798
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	11,020	9,411	△1,609	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	147,290	141,492	△5,798
資産の部合計	169,515	163,393	△6,122	負債及び純資産の部合計	169,515	163,393	△6,122

Ⅲ 財務構造分析

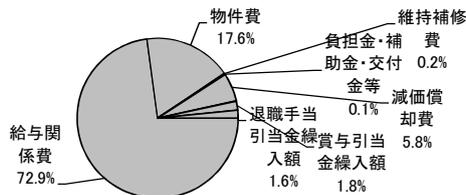
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	3人	16人	日	人	80,985
給与関係費等	26,347千円	54,638千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	111千円				

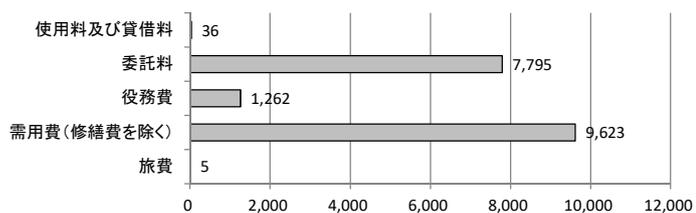
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」建物及び電気・照明・給排水設備等の減価償却により4,513千円の減
重要物品	診療所の歯科診察台やレントゲン撮影装置等の大型備品の減価償却により1,609千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立休日急病診療所ほか
取得年月日	平成27年(2015年)2月4日
建物・工作物の取得価額	160,856千円
建物・工作物の減価償却累計額	7,114千円
利用料金収入	55,547千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	2.8	0.0	0.1	0.1
施設老朽化比率	14.6	1.6	4.4	2.8
受益者負担比率	48.6	47.8	52.3	4.5
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	45.4	80.4	44.5	△35.9
経常費用対公共資産比率	2220.5	62.9	66.0	3.1

【参考:市保有施設全体の老朽化率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・経常収入55,656千円のうち、55,547千円は、受診者からの診療収入によるもので、経常収入の99.8%を占めています。受益者負担比率も52.3%と高く、受診者の負担が収入の大きなウエイトを占める事業です。  
 ・経常費用106,118千円のうち、77,337千円は、主に医師、薬剤師、看護師などの出務報酬等を含む給与関係費にかかるもので、経常費用全体の72.9%を給与関係費が占めています。  
 ・経常収支の差額は一般財源を充当しており、一般財源充当比率は44.5%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因に左右されるなど、大幅な収入増が見込めないことから、今後も収支の改善は困難であると考えます。  
 しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要があります。今後、事業のより効率的な運営を目指して、事務の委託や改善に積極的に取り組んでまいります。  
 休日急病診療所移転整備事業につきましては、平成29年度に、恒久的な移転先として活用するため、「(旧)ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」の建物を購入し、本年度は必要な改修等を行い、令和2年4月の移転開設に向けて準備を進めています。